



かがやけのこ

焼野っこ

やさしく
けんこうて
のびのびと

第 6 号

人として支え合い！感謝の心を！

「人」という漢字をよくみると、一画目を二画目が支えています。漢字が示すように、人は支え合ってなければ倒れてしまいます。

運動会の5・6年生の「組体操×ソーラン節～一支要懸命～」では、まさにお互いを支え合う見事な演技を披露してくれました。

しかし、人はふだんからお互いに支え合っているにもかかわらず、支えてくれている人のことをあまり意識することなく生活しているのではないか。気づかないところで自分を支えてくれている人がいるということに、感謝の心を忘れてはいけないと思います。



▲全員ピラミッドは互いに支え合い完成した

サッカーの長友祐都選手が「上昇思考」という本の中で「感謝の心を忘れては人として成長できなくなる。サッカー選手としても飛躍はできません。僕たちがサッカーできるのは目立たないところで一生懸命働いてくれる人たちがたくさんいるからです。そういう人たち

に感謝の心を示すためにも常に全力でプレイしなければなりません」と書いています。

お互いの気持ちが通じ合い、それぞれが自分の力を精一杯に發揮するそんな焼野っこになってほしいですね。

たてわり班で楽しくオリエンテーリング！

全校児童が鶴見緑地でのオリエンテーリングに参加し楽しく過ごすことができました。学年をこえて子どもたちがたてわり班で活動します。お弁当や遊ぶときも一緒に仲良く行動しました。1年生から6年生まで「はないちもんめ」や「だるまさんがころんだ」で本当に楽しそうに遊んでいる姿に心温まる感じがします。

6年生が1年生の子の手をやさしく引っ張つてあげて教えてあげたり、1年生の子が6年生にしがみついて頼りにしている姿がとてもほほえましいです。活発で自主的な児童会活動が子どもたちの意欲とよい関係を生み出し、たてわり班活動では1年～6年生がファミリーをつくってお互いに気づかい支え合う雰囲気ができてきているのがうれしいですね。

▶
楽たわ オ
りし り
くは オ
遊あそ ン
ぶテ
子年をこ
どもた
ち

